

みずほCustomer Desk Report 2017/03/30号(As of 2017/03/29)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	111.22	1.0817	120.29	0.9924	1.2422	0.7654
SYD-NY High	111.31	1.0825	120.44	0.9976	1.2478	0.7676
SYD-NY Low	110.71	1.0740	119.06	0.9914	1.2377	0.7629
NY 5:00 PM	111.05	1.0765	119.56	0.9966	1.2435	0.7671
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	8.93/9.305		25RR	1.325	Yen Call Over	

	日本2年債	日本10年債	米国2年債	米国5年債	米国10年債	独10年債	英10年債	豪10年債
債券市場	-0.2460	0.0580	1.2698	1.9260	2.3765	0.3440	1.1500	2.7220
	1.6bp	-	▲3.2bp	▲3.8bp	▲4.1bp	▲4.4bp	▲4.2bp	2.3bp

	USD/CNH	ドルインデックス	CRB指数	NY金	WTI	Dubai Spot
為替市況	6.8668	100.00	185.209	1,256.80	49.51	50.14
	▲0.0069			▲2.00	1.14	0.63

	商品市況
USDJPY 3M Vol	9.56 ▲0.23%
USDJPY 6M Vol	9.55 ▲0.20%
EURJPY 3M Vol	11.31 ▲0.21%
EURJPY 6M Vol	10.77 ▲0.19%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月29日	20:00	米 MBA住宅ローン申請指数	-	-0.8%
	22:20	米 エバンス・シカゴ連銀総裁講演	-	-
	23:00	米 中古住宅販売仮契約(前月比)	2月	5.5%
3月30日	00:30	米 ローゼン格林・ボストン連銀総裁講演	-	2.5%
	02:15	米 ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁講演	-	-

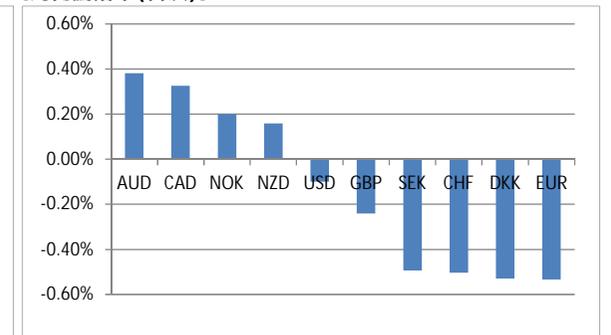
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月30日	08:50	日 対内・対外証券投資	-	-
	18:00	欧 消費者信頼感・確報値	3月	-5.0
	21:00	独 消費者物価指数・速報値(前月比/前年比)	3月	0.4%/1.8%
	21:30	米 GDP・確報値(年率/前期比)	第4Q	2.0%
	21:30	米 個人消費・確報値	第4Q	3.0%
	21:30	米 コアPCE(前期比)・確報値	第4Q	1.2%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	-	247K
	22:45	米 メスター・クリーブランド連銀総裁講演	-	261K
3月31日	00:00	米 カプラン・ダラス連銀総裁講演	-	-
	05:30	米 グドリー・NY連銀総裁講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.50-111.50	1.0740-1.0820	119.00-120.20

【マーケットインプレッション】

昨日海外市場のドル円相場は下に向かって来いの展開。依然としてトランプ政権の先行き不透明感が警戒される中、米長期金利の低下に連なってドル円もじりじりと下値を切り下げていく展開。ドル円は一時110.71まで下落するも、2017年の投票権を持ちハト派として知られるエヴァンス・シカゴ連銀総裁の年内あと2回の利上げを支持する姿勢が伝わった他、米2月中古住宅販売仮契約など良好な米経済指標や市場予想を下回る原油在庫統計を好感する格好からドル円は111円台前半まで値を戻した。本日のドル円は一定のレンジ内での上値の重い展開を予想する。月末・年度末特有の本邦勢による実需フローに揉み合う場面も想像されるも、米株や米長期金利が伸び悩む中で依然としてトランプ政権の政策実行力が不安視される状況にドルが一時的に買われるイメージはない。なお、本日は米第4四半期GDP(確報値)の発表を予定している。市場予想を上回る結果となれば一時的なドル高地合いはあっても上値は限定的となりそう。

東京	東京時間のドル円は111.22レールでオープン。この日は期末日がスホット応答日に当たり実需勢の円転力が入りやすいと思惑などを背景に一時111.03まで下落。しかし、111.00目前で下げ止まり反発に転じると、一時111.31まで上昇。その後は特段の新規材料ない中で、111円台前半での方向感に乏しいもみ合い推移となり、結局111.14レールで海外へ渡った。また、海外時間に英国のEU離脱正式通告を控えて朝方にボンドが急落。ボンド売り優勢となる中、対ドルで1.2422レールで東京時間オープンすると一時1.2377まで急落。その後一旦1.24台を回復する局面もあったものの、戻りは鈍く1.2391レールで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は111円台前半から110円台後半へ下落。朝方は111.14レールでオープン。序盤から米金利が低下する中でドルが全般的に弱含む展開となり、ドル円も軟調推移となった。その後、「3月のECBのメッセジは読み込まれすぎている。あくまでテールリスクが後退したのみで、出口への一歩をシグナルしたわけではない」とのECB匿名関係筋の発言が市場に伝わるとユーロが大きく下落し、ユーロ円もつれ安となり119.06まで下落。このユーロ円の下落を受けドル円も下値110.71まで下落し、110.83レールでNYへ渡った。ボンドはリスホット条約50条発動まで買われる展開。朝方は1.2391レールでオープン。ボンドが全般的に上昇し、50条発動前までに1.24台半ばまで上昇。メイ首相が実際に50条発動の書簡をEUに渡した直後に高値1.2478まで上昇。その後はやや反落し1.2460レールでNYへ渡った。(ロンドン・トルジャー 日比野00531 444 179)
ニューヨーク	月末スホット応答日に伴い円転需要が旺盛であったことや、仏大統領選世論調査においてこれまで優勢だったマクロン氏の支持率がルペン氏(極右)に追いつかれたことが明らかになりリスク回避の動きが強まったこと等からドル円は高値111.31から110.71まで下落し110.83レールでNYオープン。朝方発表された米2月中古住宅販売仮契約(前月比)が予想を大幅上回ったことを受けてドル買いが強まりドル円は111円台まで上昇。その後発表された米週間原油在庫統計が予想を上回る在庫減少となったことからWTI原油が上昇したことや、ローゼン格林・ボストン連銀総裁(2017年投票権なし)が「米経済は4回の利上げに耐えられる」、「FOMCは隔合会で利上げ」などと発言したことからドル円は111.16まで上昇。ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁(2017年投票権なし)から「年内は3回、または4回の利上げを予想」との発言もあり、ドル円は111.00での底堅い推移となり、111.05レールでクロスした。一方ユーロドルは英国がEUに対し正式に離脱を通知したことや、仏大統領選で極右ルペン氏が優勢との世論調査を受けて1.0753まで下落しNYオープン。ハードブレグジットの懸念もある中、ユーロドルは上値重く推移し、1.0765レールでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。